

注3

大学番号：164

認可

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

一宮研伸大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人研伸学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 一宮研伸大学事務局

職名・氏名 総務課 村上翔子

電話番号 0586-28-8110

（夜間） 0586-28-8110

F A X 0586-25-2800

e-mail s.murakami.o@ikc.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人研伸学園

(2) 大 学 名

一宮研伸大学

(3) 大学の位置

〒491-0063

愛知県一宮市常願通五丁目4番1（愛知県一宮市常願通五丁目4番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イトウ シンイチ) 伊 藤 伸 一 (平成15年12月)		
学 長	(ドイ マツコ) 土 井 ま つ 子 (平成29年4月)		
学 部 長	(コバヤシ タツコ) 小 林 た つ 子 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	6人 (3年次)	332人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.21	
志願者数	234 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	217 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	166 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	97 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B／A	1.21									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	97 [-] (-)	- [-] (-)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
2 年次			 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
3 年次					 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
4 年次							 [] ()	 [] ()	
計							 [97] (-)	 [] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	97 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	97 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(1) 授業科目表

7

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 科目 群	看護 の 基礎	基礎看護学Ⅰ	1前	2			2						オムニバス	
		基礎看護学Ⅱ	1後	2			1	1	1	1	2		オムニバス 共同 ※演習	
		基礎看護学Ⅲ	2前	2			2	1	1	1	2		オムニバス 共同 ※演習	
		基礎看護学Ⅳ	2後	2			2	1	1	1	2		オムニバス 共同 ※演習	
		基礎看護学Ⅴ	2前	2			2	1	1	1	2		オムニバス 共同	
		基礎看護学実習Ⅰ	2後	1			1	1	1	2	4		共同	
		基礎看護学実習Ⅱ	3前	2			1	1	1	2	4		共同	
		看護学入門Ⅰ	1前		1		2	2	1	1			オムニバス 共同	
		看護学入門Ⅱ	1前		1		1							
	看護 の 実践	健康生活支援看護論	2前	2				1					兼2	オムニバス 共同（一部）
		プライマリヘルスケア論	2前	2			3							オムニバス
		家族の健康と看護	2前		1			1					兼1	オムニバス
		女性の健康生活支援看護Ⅰ	2前	2			1		1	1				オムニバス
		女性の健康生活支援看護Ⅱ	2後	2			1		1	1	1		オムニバス 共同 ※演習	
		女性の健康生活支援看護実習	3後	2			1		1	1	1		共同	
		在宅看護論	2後	1					1	1			兼1	オムニバス
		療養生活支援看護Ⅰ	2後	2			1		1	1				オムニバス
		療養生活支援看護Ⅱ	3前	2			1		1	2			オムニバス 共同 ※演習	
		療養生活支援看護実習	3後	4			1		1	2	1		共同	
		急性期回復支援看護Ⅰ	3前	2			1		2				オムニバス	
		急性期回復支援看護Ⅱ	3後	1					2		1		オムニバス 共同※講義	
		急性期回復支援看護実習	4前	3					2		2		共同	
		高齢者の健康生活支援看護Ⅰ	2後	2				1					兼1	オムニバス 共同 ※講義
		高齢者の健康生活支援看護Ⅱ	3前	2				2		1				オムニバス
		高齢者の健康生活支援看護実習Ⅰ	3後	2				2		1			共同	
		高齢者の健康生活支援看護実習Ⅱ	4前	2				2		1			共同	
		こどもの健康生活支援看護Ⅰ	2後	2			1						兼1	オムニバス 共同※講義
		こどもの健康生活支援看護Ⅱ	3前	2			1		1	1				オムニバス
		こどもの健康生活支援看護実習	3後	2			1		1	1			共同	
		こころの健康生活支援看護Ⅰ	3前	2			1						兼1	オムニバス 共同 ※演習
		こころの健康生活支援看護Ⅱ	3後	2			1	1	1					オムニバス
		こころの健康生活支援看護実習	4前	2			1	1	1		1		共同	
		医療安全管理論	3前		1					1			兼2	オムニバス
		感染予防看護論	3前		1					1				オムニバス
		クリティカルケア論	4前		1					1			兼1	オムニバス
		緩和ケア論	4前		1					1				オムニバス
		グローバルヘルスケア論	4後		1		1							
	看護 の 統合 と 発展	看護教育学	3後		2		1					兼4	オムニバス	
		国際看護論	3後		1								オムニバス	
		看護管理学	4前	2			1		1			兼1	オムニバス 共同	
		災害看護論	4前		1								オムニバス	
		キャリア形成論	4前		1							兼2	オムニバス	
		総合ゼミナール	4通		2	9	5	6	2				共同	
		卒業研究	4通		2	9	1					共同		
		総合看護実習	4後	3		2	3	7	5			共同		
		看護実践論	4後		1	1						兼4	オムニバス	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
助産師課程専門科目群	周産期医学論	2後		2							兼6	オムニバス
	助産学総論	3前		1		1					兼1	オムニバス
	助産管理論	3前		2		1		1			兼1	オムニバス
	助産診断技術学Ⅰ	3後		2		1		1	1			オムニバス
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1	1			オムニバス
	助産学演習	4前		1		1		1	1			共同
	助産学実習Ⅰ	4通		9		1		1	1	1		共同
	助産学実習Ⅱ	4通		2		1		1	1	1		共同

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
科目 61	科目 49	科目 0	科目 110	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{110} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	6465.45㎡	- ㎡	- ㎡	6465.45㎡				
	運動場用地	1487.59㎡	- ㎡	- ㎡	1487.59㎡				
	小 計	7953.04㎡	- ㎡	- ㎡	7953.04㎡				
	そ の 他	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡				
	合 計	7953.04㎡	- ㎡	- ㎡	7953.04㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		8361.34㎡ (8361.34 ㎡)	- ㎡ (- ㎡)	- ㎡ (- ㎡)	8361.34㎡ (8361.34 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		8室	15室	5室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		看護学部 看護学科			36 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					
		看護学部	14,473 [824] (14,473 [824])	38 [5] (38 [5])					3 [3] (3 [3])
	計	14,473 [824] (14,473 [824])	38 [5] (38 [5])	3 [3] (3 [3])	1,220 (1,220)	4,063 (4,063)	89 (89)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		484.50㎡		95		30,290			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		-㎡		体 育 室 359 ㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む。）を含む。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,045千円	5,400千円	-千円	
	共 同 研 究 費 等	300千円	500千円	設備購入費	51,210千円	-千円	-千円		
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	納付金	1,680千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	-千円	-千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄附金、補助金等による						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	一 宮 研 伸 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
看護学部 看護学科	年 4	人 80	年次 人 3年次 6	人 332	学士 (看護学)	倍 1.21	平成29年度	愛知県一宮市常願通五丁目4番1	
大 学 の 名 称	愛 知 き わ み 看 護 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	平成29年より学生 募集停止
看護学科	年 3	人 -	年次 人 -	人 -	短期大学士 (看護学)	倍 -	平成16年度	愛知県一宮市常願通五丁目4番1	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	土井 まつ子	平成29年 4 月	・研究入門 ・生体防御機構と免疫 ・看護学入門Ⅰ ・看護学入門Ⅱ ・看護実践論						
専	教授	吉野 昌孝	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・生化学 ・解剖生理学演習 ・病態治療学概論 ・病態治療学Ⅰ ・病態治療学Ⅱ ・病態治療学Ⅲ ・総合ゼミナール ・卒業研究						
専	教授	吉野 恵子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・解剖生理学概論 ・解剖生理学Ⅰ ・解剖生理学Ⅱ ・解剖生理学演習 ・臨床薬理学 ・総合ゼミナール ・卒業研究						
専	教授	榊原 久孝	平成31年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・疫学 ・保健・医療・福祉システム論 ・公衆衛生学 ・プライマリヘルスケア論 ・グローバルヘルスケア論 ・総合ゼミナール ・卒業研究						
兼任	講師	榊原 久孝	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・疫学 ・保健・医療・福祉システム論 ・公衆衛生学 ・プライマリヘルスケア論						
専	教授	白鳥 さつき	平成30年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・基礎看護学Ⅰ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・看護教育学 ・看護管理学						
兼任	講師	白鳥 さつき	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・基礎看護学Ⅰ						
専	教授	小林 たつ子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・基礎看護学Ⅰ ・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅱ						

専	教授	溝口 満子	平成31年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・生命倫理 ・医療と看護の倫理 ・プライマリヘルスケア論 ・療養生活支援看護Ⅰ ・療養生活支援看護Ⅱ ・療養生活支援看護実習 ・急性期回復支援看護Ⅰ ・総合ゼミナール ・卒業研究	専	教授	溝口 満子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・生命倫理 ・医療と看護の倫理 ・プライマリヘルスケア論 ・療養生活支援看護Ⅰ ・療養生活支援看護Ⅱ ・療養生活支援看護実習 ・急性期回復支援看護Ⅰ ・総合ゼミナール ・卒業研究	教育の充実を図るため(29)
専	教授	下村 明子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・プライマリヘルスケア論 ・こどもの健康生活支援看護Ⅰ ・こどもの健康生活支援看護Ⅱ ・こどもの健康生活支援看護実習 ・総合ゼミナール ・卒業研究 ・総合看護実習						
専	教授	田辺 圭子	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・看護学入門Ⅰ ・女性の健康生活支援看護Ⅰ ・女性の健康生活支援看護Ⅱ ・女性の健康生活支援看護実習 ・助産診断技術Ⅰ ・助産診断技術Ⅱ ・総合ゼミナール ・卒業研究 ・助産学総論 ・助産管理論 ・助産学演習 ・助産学実習Ⅰ ・助産学実習Ⅱ						
専	教授	石村 佳代子	平成31年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・看護援助的関係論 ・こころの健康生活支援看護Ⅰ ・こころの健康生活支援看護Ⅱ ・こころの健康生活支援看護実習 ・総合ゼミナール ・卒業研究 ・総合看護実習						
兼任	講師	石村 佳代子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・看護援助的関係論						
専	准教授	野村 千文	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・家族の健康と看護 ・高齢者の健康生活支援看護Ⅰ ・高齢者の健康生活支援看護Ⅱ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅰ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅱ ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
専	准教授	石井 成郎	平成30年 4 月	・心理学 ・コミュニケーション論 ・統計学 ・情報リテラシー ・情報科学 ・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・アカデミックライティング ・総合ゼミナール ・卒業研究						
専	准教授	石井 成郎	平成29年 4 月	・心理学 ・コミュニケーション論 ・統計学 ・情報リテラシー ・情報科学 ・教養ゼミナール						

専	准教授	兼田 美代	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・コミュニケーション支援論 ・看護学入門Ⅰ ・高齢者の健康生活支援看護Ⅱ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅰ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅱ ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
専	准教授	千々岩 友子	平成31年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・看護援助的関係論 ・総合ゼミナール ・総合看護実習 ・こころの健康生活支援看護Ⅱ ・こころの健康生活支援看護実習						
兼任	准教授	千々岩 友子	平成29年 4 月	・教養ゼミナール ・連携ゼミナールⅠ ・看護援助的関係論						
専	准教授	梶山 委都子	平成31年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・看護学入門Ⅰ ・健康生活支援看護論 ・総合ゼミナール						
兼任	准教授	梶山 委都子	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・看護学入門Ⅰ ・健康生活支援看護論						
専	講師	畠山 和人	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・急性期回復支援看護Ⅰ ・急性期回復支援看護Ⅱ ・急性期回復支援看護実習 ・感染予防看護論 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
専	講師	鈴江 智恵	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・看護学入門Ⅰ ・看護管理学 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
専	講師	増永 悦子	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・在宅看護論 ・療養生活支援看護Ⅰ ・療養生活支援看護Ⅱ ・療養生活支援看護実習 ・緩和ケア論 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
専	講師	谷 純子	平成29年 4 月	・女性の健康生活支援看護Ⅰ ・女性の健康生活支援看護Ⅱ ・女性の健康生活支援看護実習 ・助産診断技術Ⅰ ・助産診断技術Ⅱ ・総合看護実習 ・助産管理論 ・助産学演習 ・助産学実習Ⅰ ・助産学実習Ⅱ						
専	講師	小倉 久美子	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・急性期回復支援看護Ⅰ ・急性期回復支援看護Ⅱ ・急性期回復支援看護実習 ・クリティカルケア論 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						

専	講師	岡田 摩理	平成31年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・看護援助的関係論 ・こどもの健康生活支援看護Ⅱ ・こどもの健康生活支援看護実習 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
兼任	講師	岡田 摩理	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・看護援助的関係論						
専	講師	出口 睦雄	平成31年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・看護援助的関係論 ・こころの健康生活支援看護Ⅱ ・こころの健康生活支援看護実習 ・総合ゼミナール ・総合看護実習						
兼任	講師	出口 睦雄	平成29年 4 月	・連携ゼミナールⅠ ・看護援助的関係論						
専	助教	吉田 ひとみ	平成31年 4 月	・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・療養生活支援看護Ⅱ ・療養生活支援看護実習 ・総合看護実習						
専任	助教	森 仁美	平成30年 4 月	・女性の健康生活支援看護Ⅰ ・女性の健康生活支援看護Ⅱ ・女性の健康生活支援看護実習 ・総合看護実習 ・助産診断技術学Ⅰ ・助産診断技術学Ⅱ ・助産学演習 ・助産学実習Ⅰ ・助産学実習Ⅱ						
専	助教	橋本 侑美	平成31年 4 月	・こどもの健康生活支援看護Ⅱ ・こどもの健康生活支援看護実習						
専	助教	伊東 裕康	平成30年 4 月	・微生物学 ・教養ゼミナール ・研究入門 ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・アカデミックライティング ・総合ゼミナール						
兼任	講師	伊東 裕康	平成29年 4 月	・微生物学 ・教養ゼミナール ・研究入門						
専	助教	肥田 武	平成29年 4 月	・国語表現 ・教養ゼミナール ・研究入門 ・連携ゼミナールⅠ ・連携ゼミナールⅡ ・アカデミックライティング ・総合ゼミナール						
専	助教	赤羽根 章子	平成31年 4 月	・看護学入門Ⅰ ・在宅看護論 ・療養生活支援看護Ⅰ ・療養生活支援看護Ⅱ ・療養生活支援看護実習 ・総合看護実習						
兼任	講師	赤羽根 章子	平成31年 4 月	・看護学入門Ⅰ ・在宅看護論 ・療養生活支援看護Ⅰ						
専	助教	山下 美智子	平成31年 4 月	・高齢者の健康生活支援看護Ⅱ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅰ ・高齢者の健康生活支援看護実習Ⅱ ・総合看護実習						
専	助教	田畑 真澄	平成31年 4 月	・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・総合看護実習	専	助教	田畑 真澄	平成29年 4 月	・基礎看護学Ⅱ ・基礎看護学Ⅲ ・基礎看護学Ⅳ ・基礎看護学Ⅴ ・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・総合看護実習	教育の充実を図るため(29)

兼任	講師	坂田 久美子	平成29年 4 月	・クリティカルケア論 ・看護実践論						
兼任	講師	鈴木 里美	平成29年 4 月	・クリティカルケア論						
兼任	講師	志賀 由美	平成29年 4 月	・国際看護論						
兼任	講師	濱井 妙子	平成29年 4 月	・国際看護論						
兼任	講師	仲井 美由紀	平成29年 4 月	・英語文献講読 ・家族の健康と看護 ・グローバルヘルスケア論 ・国際看護論						
兼任	講師	中川 善之	平成29年 4 月	・生物と環境						
兼任	講師	横地 高志	平成29年 4 月	・生体防御機構と免疫						
兼任	講師	松本 義也	平成29年 4 月	・生体防御機構と免疫						
兼任	講師	國島 典子	平成29年 4 月	・コミュニケーション支援論						
兼任	講師	鈴木 朋子	平成29年 4 月	・コミュニケーション支援論						
兼任	講師	山口 節子	平成29年 4 月	・臨床栄養学						
兼任	講師	後藤 幸生	平成29年 4 月	・音楽療法						
兼任	講師	宮里 和子	平成29年 4 月	・助産学総論 ・助産管理論						
兼任	講師	三鴨 廣繁	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅲ ・周産期医学論						
兼任	講師	鹿山 由美	平成29年 4 月	・支援論 ・英語Ⅰ						
兼任	講師	鄭 躍慶	平成29年 4 月	・運動の科学・実技 ・中国語						
兼任	講師	福井 雅彦	平成29年 4 月	・哲学入門						
兼任	講師	岡野 晶子	平成29年 4 月	・看護実践論						
兼任	講師	森 英樹	平成29年 4 月	・法学						
兼任	講師	新改 法子	平成29年 4 月	・看護実践論						
兼任	講師	池田 和子	平成29年 4 月	・看護実践論						

兼任	講師	千田 隆夫	平成29年 4 月	・解剖生理学演習						
兼任	講師	久保原 信司	平成29年 4 月	・ポルトガル語Ⅰ ・ポルトガル語Ⅱ						
兼任	講師	佐藤 千歳	平成29年 4 月	・国際看護論						
兼任	講師	佐藤 尚子	平成29年 4 月	・文化人類学						
兼任	講師	松葉 和久	平成29年 4 月	・臨床薬理学						
兼任	講師	藤原 奈佳子	平成29年 4 月	・医療経済						
兼任	講師	佐々木 政司	平成29年 4 月	・現代社会と家族						
兼任	講師	黒柳 淳	平成29年 4 月	・運動の科学 ・加齢の科学						
兼任	講師	大久保 貴仁	平成29年 4 月	・災害看護論						
兼任	講師	青山 恵美	平成29年 4 月	・医療安全管理論						
兼任	講師	小澤 淑子	平成29年 4 月	・英語Ⅱ ・医療英語						
兼任	講師	木村 隆之	平成29年 4 月	・現代社会と経済						
兼任	講師	ANDREW DAVID MCKERNON	平成29年 4 月	・英語Ⅰ ・英語Ⅱ						
兼任	講師	佐藤 和良	平成29年 4 月	・化学						
兼任	講師	伊藤 伸一	平成29年 4 月	・医療概論						
兼任	講師	海川 和幸	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅰ						
兼任	講師	村瀬 寛	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅰ						
兼任	講師	岡澤 光芝	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅰ						
兼任	講師	近藤 三隆	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅱ						
兼任	講師	今井 秀	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅱ						

兼任	講師	唐澤 善幸	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅱ						
兼任	講師	北川 幸子	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅲ						
兼任	講師	早川 朋人	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅲ						
兼任	講師	金子 淳	平成29年 4 月	・病態治療学Ⅲ						
兼任	講師	小島 久典	平成29年 4 月	・こころの科学						
兼任	講師	中北 武男	平成29年 4 月	・性と生殖の科学						
兼任	講師	嶋津 光真	平成29年 4 月	・周産期医学論						
兼任	講師	坂井 啓造	平成29年 4 月	・周産期医学論						
兼任	講師	岡 京子	平成29年 4 月	・周産期医学論						
兼任	講師	白石 弘章	平成29年 4 月	・周産期医学論						
兼任	講師	今永 弓子	平成29年 4 月	・周産期医学論						
兼任	講師	山崎 あけみ	平成29年 4 月	・家族の健康と看護						
兼任	講師	佐原 弘子	平成29年 4 月	・看護情報学						
兼任	講師	竹内 愛	平成29年 4 月	・ジェンダー論						
兼任	講師	野田 明美	平成29年 4 月	・在宅看護論						
兼任	講師	加藤 みちよ	平成29年 4 月	・キャリア形成論						
兼任	講師	山田 葉子	平成29年 4 月	・キャリア形成論						
兼任	講師	田中 香お里	平成29年 4 月	・微生物学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
10	5	7	8	30	7	2	5	2	16	10	5	7	8	30
(6)	(2)	(5)	(1)	(14)						[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時 （上記（A）） の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時（上 記（B））の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数
65 歳	5 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		「該当なし」				
合 計（A）				後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
「該当なし」						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		「該当なし」				
合 計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
「該当なし」						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）		後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
「該当なし」					

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年10月)	1. 設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	設置計画時のカリキュラムどおり教育活動を実施しています。また、教育活動の向上に努めています。	
	2. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	設置計画時のカリキュラムに基づき教育に支障のないよう履行し、また、学生の課外活動等にも配慮しています。	
(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（<u>学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、<u>報告年度を（ ）書きで付記</u>してください。 ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。 ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に記入</u>してください。 ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。 ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）				

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等「該当なし」

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD・SD委員会を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年4月に第1回目の開催し、教員4名、事務職員2名が参加している。今後の活動としては、定例委員会として月に1度を予定している。

c 委員会の審議事項等

FD・SD研修プログラムの立案・実施・評価を行い、評価結果を教職員へフィードバックする。

② 実施状況

a 実施内容

年間計画表を作成し、活動内容を決定するにあたり、担当者を決定した。

内容については、5月の委員会で研修プログラムや開催月案を検討する予定である。

b 実施方法

FD関係の研修会を企画し、実施する予定である。また、他大学等におけるFD関係研修会の情報を収集し、FD委員会をとおし学内に周知し、参加を勧めるとともに、委員会メンバーによる研修会参加を検討する予定である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年間計画表に基づき、年2回の開催を予定している。また、他大学のFD関係研修会の参加についても、年2回程度を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

評価結果等を取りまとめ、分析し、改善計画等を作成する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期および後期の講義終盤に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業集計結果および回答済アンケート用紙を担当教員に配付することを予定している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

① 四年制大学として本年4月に開学し、新入生が入学してから1ヶ月が経過しました。入学以来、学生97名を10～11名程度のグループとして組み、そこに各教員がアドバイザーとして寄り添い、学生の主体性を促しつつ、学生からの相談、助言、カリキュラムへのアドバイスをきめ細かに対応しています。そのことから、学生が授業に臨む態度は、真摯なものであり、学生生活も順調な状況です。特に、看護師はチームで看護にあたるが多々あるため、学生のグループとしての動きがあることにより、本学の看護教育の目的に沿った教育を順調に進み始めたと考えられます。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

学内委員会として自己点検・評価委員会を設置し、評価の企画、実施、点検、改善等の活動の円滑な推進を行うと予定しております。

自己点検・評価は、初年度から少しずつ開始し、完成年度の平成33年から2年後に認証評価を受けるように検討を進める。その結果は平成35年度中に公表していく予定である。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行し、本学実習施設、東海三県の大学及び中部地方の看護大学、関係地方公共団体及び学内教職員に配布する。

大学ホームページに公開予定です。（平成35年7月予定）

③ 認証評価を受ける計画

完成年度以降の自己評価・点検報告書が完成した時に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく学内で検討を進める。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29 年 8 月 末)